



平成21年10月29日

各 位

会 社 名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
代表者名 代表取締役社長 西澤 庄藏
(コード番号：5726 東証第一部)
問合せ先 総務部長 岡田 宗久
(TEL. 06-6413-9911)

平成22年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえ、平成21年4月28日に公表しました通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期 通期業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,500	3,100	2,000	1,140	30 98
今回修正予想 (B)	31,500	1,000	△400	△400	△10 87
増減額 (B - A)	△4,000	△2,100	△2,400	△1,540	—
増減率 (%)	△11.3	△67.7	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	52,088	14,693	14,173	8,247	224 13

2. 修正の理由

チタン事業につきましては、輸出向けでは航空旅客需要の低迷に加え、ボーイング社の新型航空機B787の度重なる納入遅れにより、依然需要回復の見通しが立たない状況であり、国内向けでは展伸材メーカーで産業プラント向けなど出荷が急減し、在庫水準が高位で推移しております。このため、前回予想では下期から回復を見込んでおりましたスポンジチタンの販売は、当初の予想を大きく下回る見通しであります。また、半導体・高機能材料事業につきましても、半導体需要は若干の回復が認められるものの、多結晶シリコンの市場価格は反転するには至っておりません。

以上の事業環境の中、コスト合理化の上積みや設備投資の抑制等収益改善に努めておりますが、販売数量の大幅な減少と市況価格の下落、円高の進行に加え、スポンジチタンにおいて「棚卸資産の評価に関する会計基準」(低価法)の適用に伴う棚卸資産評価損が発生する見通しとなり、前回発表予想値(平成21年4月28日発表)を、売上高31,500百万円、営業利益1,000百万円、経常利益△400百万円、当期純利益△400百万円に下方修正いたしました。

以上